

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 浜松丸塚教室 保護者等数(児童数) 15(17) 回収数 15 割合 100 %

		チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3			写真を見る限り確保されていると思います。今後も活動内容に合わせてバージョンの利用、1F2Fの教室を利用するなど工夫していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12			3	児童の先生にもお会いすることがあるので人数に合わせて調整してくれている事が伺えます。契約時に説明し、保護者の方に周知していきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			4	バリアフリー化と言われればそうではないかもしれませんが。階段に手すりは設置しているが、スロープ、バリアフリー化は必要に応じて検討していきます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15				子どものことをよく理解していただけていると思います。今後も子どもの様子や状況をしっかりと把握し、保護者のニーズも踏まえて計画を作成していきます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14			1	教室内の活動だけでなく、外での活動も行ってきています。いろいろな活動ができるように活動プログラムを工夫していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3		8	他教室とも交流はイベントを通して行ってくれました。今後障害のない子どもとも活動する機会を検討していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				契約時にきちんと説明していただきました。わからないことは、随時伺っています。契約時に丁寧に説明し、不明な点、問い合わせにも丁寧に対応していきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				送迎時、こぼんでの子どもの様子を教えてください。今後も日々の様子を職員間で共有し、保護者の方とも連携をとり共通理解を図っていきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1			面談や送迎時にきちんと子どもの様子を報告していただいています。保護者と信頼関係を築き、話しやすい雰囲気、環境作りを心がけます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	4	3	4	夏祭りや講演会の開催は行われていますが、保護者同士の連携は難しいです。父母会の開催はありませんでしたが、今後保護者のニーズに合わせて検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			2	質問の内容に合わせた、寄り添った回答を頂いています。苦情があった場合は速やかに対応できるようにすぐに職員間で周知して保護者、子どもが納得いく対応を心がけていきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				連絡ノートに記載したことにもきちんと返事がされ電話での問い合わせにも丁寧に回答していただいています。個別に配慮が必要な場合も適切に対応していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15				インスタグラムでの発信をいつも楽しみにしています。今後もリアルタイムでの情報発信に努めます。必要に応じて紙面も活用します。
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	13			2	込み入った相談をする際、声量や言い回しにも気を遣っていただいています。今後も個人情報に留意して十分気を付けていきます。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15				避難訓練のLINEもちゃんと届きます。訓練の様子も確認できるので安心です。定期的にマニュアルを見直し、全職員で周知していきます。
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15				定期的に訓練してくれていると思います。マニュアルに沿った避難訓練を実施し、いざという時に備えて保護者の方の協力もお願いしていきます。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	3		1	帰宅後、こぼんでの出来事を楽しそうに話してくれ成長を感じます。子ども、保護者ともに大変満足しています。通所を楽しみにしてもらえようように支援内容の工夫、雰囲気、環境づくりに努めます。
	18	事業所の支援に満足しているか	14	1			日々の活動を工夫し、バランスよく提案して下さっていると思います。イベントもいつもとても楽しみにしています。一人一人に寄り添う支援となるように今後もチームで協力していきます。

227 15 3 25 84%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 浜松丸塚教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	1Fの教室を利用したり、パーテーションを設置している。	活動に応じて配置の配慮をしている。1F2Fの教室を利用して、スペースの有効利用に努めます。	
	2 職員の配置数は適切である	3		児発、放デイの職員とお互いに助け合っている	忙しい時間帯は協力し合い、誰でも支援に入れるように子どもの特性や支援方法を情報共有していきいます。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		階段に手すりを設置している。	現在、身体障害、車いす利用の利用者はいないが、状況に応じて改善していきいます。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	5		朝ミーティングで意見交換や情報共有している	支援にかかわる職員が意見を出しやすい環境を整え、全職員が協議できる時間を設けていきます。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		連絡ノート、送迎時に頂いた意見を反映している。	アンケートを集計したものを全職員で共有し改善できるものは、すぐに改善に努めます。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページで公開している。	ホームページで公開していることを保護者の方に周知していきいます。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	今現在は行っていない。	今後、業務改善に繋がるように取り組んでいきます。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		定期的に研修会に参加している。	定期的に研修会に参加し、研修後は研修報告書を作成し、誰でも見れるようにします。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		集めた情報やミーティングでの情報共有をもとに分析し、計画を作成している。	今後も集めた情報をもとに子どものニーズや保護者のニーズを分析して計画作成していきいます。足りない情報については相談さんと連携していきいます。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		5	事業所独自のアセスメントツールを現在は使用している。	一貫した支援のためにも今後は足りない情報も含めながら標準化されたアセスメントツールの使用を検討していきいます。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	子どもの実情や課題を踏まえながらプログラムを立案している。	個人で立案したプログラムもチームで検討して、より良い活動プログラムになるように努めます。	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		担当職員をローテーションして、その日の活動を計画している。	その日の人数や時間も配慮し、新しい活動も取り入れられるようにしていきいます。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		その時の活動時間に合わせて活動内容を立案している。	平日には個別活動や集団活動を行い、休日や長期休みには体験活動や野外での活動を実施し、その中で課題や目的を定めています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成している	5		子どもの課題や状況を考慮して計画を作成している。	個別活動と集団活動が繋がりのある支援になるように考慮します。その子の課題や状況を考慮して計画を作成します。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝ミーティングを行い、職員全員でその日の活動内容を周知している。	支援にかかわる職員がその日の支援内容や役割分担を確認した上で支援に入るようにします。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		支援終了後は時間が取れないので、翌朝のミーティングで振り返りしている。急を要する場合や、必要に応じては送迎後に話し合っている。	毎朝のミーティングで前日の振り返りをし、情報共有していきいます。意見を言いやすい雰囲気づくりをします。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		ミーティングで出た内容を日報に記載し、個人情報、個人記録表に様子や出来事を記載している。	日報、個人記録をもとに話し合い、対応方法の統一や共有を図っていきいます。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		計画変更時期には担当者会議を行っている。	少なくとも半年に1度の担当者会議で計画の見直しをしています。モニタリングとしては毎朝のミーティングで各個人の活動報告と対応を行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	3		基本活動の計画は日々の話し合いの中で決めている。	ガイドラインの総則を職員に周知し、理解して適切に支援に組み込んでいきいます。	
	関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5		施設長、児発管を中心に子どもに接している職員が参加している。	立場や世代、性別など、様々な人が関わり、広い視野から支援ができるように努めます。
		21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		下校時刻、年間計画は家庭を通して情報共有している。連絡調整も、必要に応じて家庭に連絡したり、学校と連携している。	不明な点があるときは担任の先生に連絡し、明確になるようにしていきいます。随時学校とも連携を図っていきいます。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5	該当ケースなし。	医療的ケア児の受け入れが必要になった場合は保護者、医療機関とも連携を図り受け入れ体制を整えていきいます。	
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4	1	相談支援事業所と連携し、情報共有している。	児童発達支援事業所、相談支援事業所とは情報共有しているが、今後は幼稚園や保育園とも連携し、情報共有していきいます。	
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			5	該当ケースなし。	現在は小学生のみのご利用のため行っていません。	
25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5		出来る限り研修に参加している。	引き続き研修に参加し、困ったときや必要な時には頼れる専門機関として今後も連携していきいます。	
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5	他教室との交流を現在は行っている。	現在は交流はしていません。今後検討していきいます。	
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		今後は積極的に参加していきいます。		

保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡ノートや送迎時に保護者との連携を密にしている。	主に送迎時にお会いした時に日々の状況を伝えたり、ご家庭の様子をお聞きして状況や課題の共通認識を図っていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3		日々の対応の中で、助言や、情報共有している。	保護者支援の観点から、ペアレントトレーニング等検討していきます。引き続き保護者からの相談や関わり方の質問には個別に丁寧に対応していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		見学时、契約時に詳しく説明している。	見学时、契約時に丁寧に説明し、不明な点についてはいつでも申し出て答えられるようにしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		悩みや相談を受けた時にはチームで検討し、助言、支援等を行っている。	保護者が悩みや困りごとを話しやすい雰囲気づくりを心がけていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	現在は開催していない。	保護者の方が参加する夏祭りや講演会は行っていますが、時間的にも交流とまではいかずにお話する程度になっています。今後は保護者のニーズも踏まえて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情があった場合はすぐに全職員に周知し、状況の確認、対応の検討を行っている。	保護者に丁寧に対応し、迅速な対応をしていきます。必要に応じて子どもからも話を聞き、納得のいく対応を心がけます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		SNSを活用し、情報発信している。	定期的な更新を心がけて、個人情報に配慮し、わかりやすい情報を発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	5		重要書類は鍵付きロッカーに保管し、個人情報の記載のある書類はシュレッダーを使用し、個人情報には十分気をつけている。	個人情報は鍵のあるロッカーに保管し、個人情報を破棄する場合もシュレッダーを使用しています。
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		各家庭に合わせた対応を心掛けている。	子どもや家庭の状況を把握し、適切な対応ができるように努めます。個別にわかりやすく伝えるように心がけていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		近隣企業との交流を図っている。	近隣企業のご厚意により、イベントの際はご協力いただいています。今後は地域に向けた交流も検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		各マニュアルを基に、担当者を中心に年ごとに見直し、更新している。	各マニュアルは職員が理解し、周知していきます。保護者に対しても周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		定期的な様々な災害を想定した訓練を実施している。	今後もいろいろな災害を想定して訓練をしていきます。保護者や近隣の地域の方にも災害時の協力が得られるようにしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		研修に参加し、職員に共有している。	研修や虐待マニュアルなど活用し、職員全員が周知していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		子どもの実情を把握し、身体拘束が必要な場合は、どんな時にどのように対応するかを職員間で周知、徹底する。また、個別支援計画に記載し、保護者にも丁寧に説明する。	支援にかかわる職員で対応について話し合い、共通理解していきます。保護者にも計画に記載し、丁寧な説明をしたうえで支援を進めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	現在は保護者からの情報で対応を共有させてもらっている。	今後は医師の指示書の提出をお願いしていくよう改善していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	その都度ヒヤリハットを記載し、情報を共有している。	全職員が事例を周知し、安全に活動ができるよう努めていきます。